

龍谷大学 学修支援・教育開発センター通信

Ryukoku University
Learning Support ·
Educational Development
Center Report

2018

01



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY

学修支援・教育開発センター | 〒612-8577 京都市伏見区深草塚本町67
Tel 075-645-2163 Fax 075-645-2190 <http://www.ryukoku.ac.jp/faculty/fd/index.html>
発行日: 2018年11月 編集・発行: 龍谷大学 学修支援・教育開発センター



(学生FDサロン(瀬田開催))



(学生FDサロン(深草開催))



(FDサロン)



2018, Number 01

CONTENTS

- p3** 大宮コモンズ開設
- p4** ライティングサポートセンター開設
- p5** ライティングサポートセンター利用実績
- p6** 十学部合同学生会主催 新入生対象履修相談ブース
- p7** 十学部合同学生会主催「第1回学生FDサロン」開催報告
- p8** 2018年度前期FD事業(新任教員研修/FDサロン)
- p9** 2018年度第1学期 学生による学期末の授業アンケート実施報告
- p10** 2018年度自己応募研究プロジェクト 中間報告会一覧
- p11** 新着図書を紹介

大宮コモンズ開設

2018年4月に大宮キャンパスに大宮コモンズが開設しました。大宮コモンズは、先行して図書館に開設したナレッジコモンズと、東覺の竣工にあわせて開設したスチューデントコモンズからなり、ライティングサポートセンターやキャリアセンターを含む新たな空間です。このこととともない、3キャンパスそれぞれにコモンズが整備され、「龍谷大学ラーニングコモンズ」として有機的に展開することになります。

深草キャンパス(京都市伏見区)：2015年4月開設

瀬田キャンパス(滋賀県大津市)：2015年9月開設

大宮キャンパス(京都市下京区)：2018年4月開設



スチューデントコモンズコラボレーションエリア(東覺)



スチューデントコモンズ多目的ホール(東覺)



スチューデントコモンズクリエイティブエリア(東覺)



ナレッジコモンズナレッジスクエア(大宮図書館)

ライティングサポートセンター開設

2018年4月に新たな学修支援組織「ライティングサポートセンター」(以下、「センター」という。)を設置しました。龍谷大学におけるライティング支援は、これまで各学部の自主的な取り組みに加え、瀬田学舎ではライティングセンター(2007年度)、深草学舎では深草 commons の設置にあわせて commons チューターによるライティング支援(2015年度)と、学部枠を超えた支援体制を構築してきました。そして2018年度から大宮 commons においても支援を開始することになり、これを機にライティング支援が全学的かつ継続的に必要な学修支援事業であると位置づけ、これまでの取り組み・実績を基礎とし、さらに支援事業を発展させるため、センター開室に至りました。

センターの体制・開室日時は、以下のとおりです。(※2018年度前期終了時点)

- <体制> ・ライティングスーパーバイザー …………… 1名
・ライティングチューター(本学大学院生) …… 20名(内7名：チューター・リーダー)

<開室日時>	深草キャンパス	大宮キャンパス	瀬田キャンパス
開室日数(週)	週5日	週3日	週3日
開室時間	11:00～16:00		



ライティング
スーパーバイザー
島村 健司

「念願」といえば、大げさでしょうか。ですが、深草と瀬田とでそれぞれ行われてきたライティング支援の取り組みが、あらためて体系化され、全学展開されることになったライティングサポートセンター(センター)の設置には、並々ならぬ感慨深いものがあります。

2007年度、本格稼働した瀬田学舎のライティングセンターに、スーパーバイザーとして現場に携わり、近代の文学畑しか知らなかった当時から、大学院生とともに

足掛け12年間、書くことに隣接する学生の悩みに応じてきました。そうした悩みを集約し解消することを目的とした講習会や、図書館と協働し時事問題に特化して読むことを推奨するおすすめ本(ブックレビュー)などの活動も行いました。また、社会学部の先生方には聞き取り調査に応じていただき、授業に出張する依頼講習に結びつきました。

「いちずに思うその強さはワガママと紙一重」。とある先輩の言葉です。思い入れの強いセンターですが、ひとりよがりにならないように、現場に携わるチューターの方々、現場を支えてくれる教職員の方々、足を運んでくる学生らとともに歩んでいく所存です。先生方には、センターの周知や今後の活動について、いろいろとご協力いただきたいことが出てくることと存じます。何卒よろしくお願い申し上げます。

教員の皆様へお知らせ

ライティングサポートセンターの紹介・説明

チューターが学生に向けて、相談者からのよくある質問(例：論文・レポートの書き方)やセンターの活用例などを紹介し、センターの利用について説明させていただきますので、ゼミ等の授業時にお越しく下さい。詳細は以下までご連絡ください。

<問い合わせ先> 教学企画部(内線：1050、e-mail：dche@ad.ryukoku.ac.jp)

ライティングサポートセンター利用実績

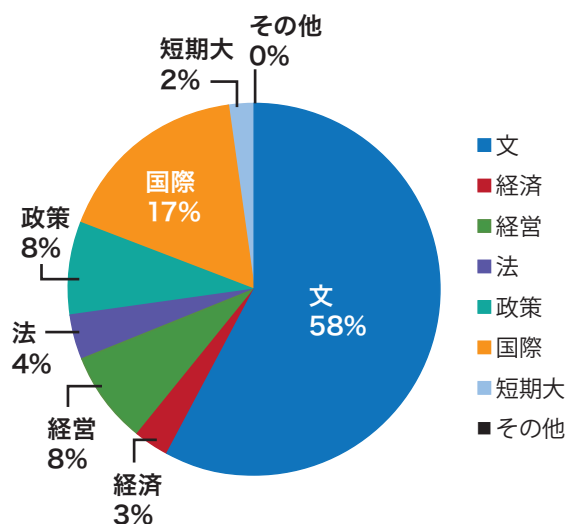
ライティングサポートセンターは、開室1年目の目標を「チューターのライティングサポートに関するスキルの共有とその基盤をつくる」「チューターの結束力を高める」とし活動しています。日々の相談対応は全て蓄積し、そのデータについて「利用者数」「相談内容」等の分析を行い、支援内容の充実に努めています。

2018年度前期ライティングサポートセンター 学舎・学部別利用者実績(延べ人数※)

※相談対応時間45分で換算。

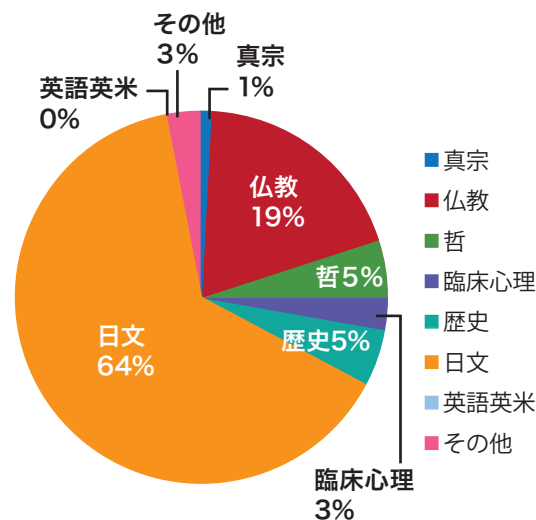
■深草学舎

	文	経済	経営	法	政策	国際	短期大	その他	合計
4,5月	62	4	4	1	31	14	4	0	120
6月	35	2	24	6	0	28	0	2	97
7月	131	6	3	7	2	26	3	0	178
合計	228	12	31	14	33	68	7	2	395



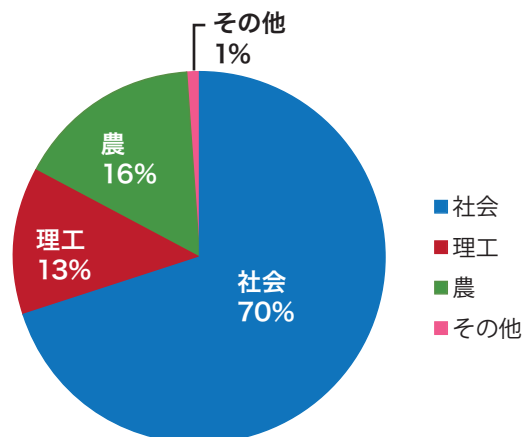
■大宮学舎 ※文学部のみ設置しているため、学科別

	真宗	仏教	哲	臨床心理	歴史	日文	英語英米	その他	合計
4,5月	0	2	0	0	0	2	0	1	5
6月	0	0	1	0	0	2	0	1	4
7月	1	13	3	2	4	45	0	0	68
合計	1	15	4	2	4	49	0	2	77



■瀬田学舎

	社会	理工	農	その他	合計
4,5月	28	1	17	0	46
6月	36	11	9	1	57
7月	103	18	13	2	136
合計	167	30	39	3	239



十学部合同学生会主催 新入生対象履修相談ブース

新入生対象履修相談ブース

十学部合同学生会では、毎年度新入生のオリエンテーション期間中に、深草・瀬田学舎において履修相談ブースを設置し、新入生の履修手続きや講義に関する不安・疑問等に対応しています。今年度は、4月2日～4日に深草学舎和顔館学生センター、4月4日に瀬田学舎智光館学生センターにおいて開催し、4日間で509名の新入生が履修相談ブースを訪れてくれました。

十学部合同学生会とは…

学友会選挙で選出された代議員で構成する学友会組織の1つで、「学生の正課環境の改善・向上」をテーマに活動しています。学修支援・教育開発センターと連携を図り、学生・教員・職員が一体となって学びについて考える学生FDサロン等、学生FD活動にも積極的に取り組んでいます。



<相談内容内訳>

相談内容	深草学舎	瀬田学舎	合計
ポータルサイトの履修登録の仕方がわからない	151	27	178
履修の組み方がわからない	371	60	431
教職・留学・資格について聞きたい	197	40	237
単位について聞きたい	244	43	287
学科特有のことについて聞きたい	158	24	182
その他	11	5	16

2018年度第1回学生FDサロン

「真剣龍大 しゃべり場：龍大一受けたい授業 ～理想の授業の受け方を考えよう～」

学生の正課環境の改善・向上を目的に活動する十学部合同学生会は学修支援・教育開発センターと連携し、学生FDサロンを開催しています。

2018年度1回目の学生FDサロンは、「理想の授業の受け方を考えよう」というテーマを設定し、瀬田学舎では7月4日(水)に学生交流会館、深草学舎では7月5日(木)に和顔館学生ドームにおいて開催しました。学生・教員・職員がグループに分かれ、理想の授業の受け方について話し合い、その内容を参加者全員で共有し、意見交換を行いました。



※十学部合同学生会が中心となり企画・立案・運営する学生主体のFDサロン



参加した学生・教職員の意見

- 授業に出席する時の意識について、あらためて考え直すことができた。(学生)
- 授業について、他学部や他学年の人と意見を交わすことができた。(学生)
- 学生が思うbest teacherを選んでインタビューをしてHPに公開してはどうか。(学生)
- 意識の高い学生の生の声が聞けて、大きな刺激を受けた。(教職員)

2018年度新任教員研修

学修支援・教育開発センターでは、2012年度から、龍谷大学に新たに着任される教育職員を対象に、本学の教育・研究・社会貢献及びFD活動等についてご理解いただくため、就任時研修を実施しています。今年度は4月1日～2日に「龍谷大学における社会連携・社会貢献活動」「龍谷大学の研究支援について」「学修支援・教育開発センターの活動・支援」「龍谷大学第5次長期計画」をテーマとして実施しました。



FDサロン

『『Active Learning and Assessing Teamwork (大学教育におけるアクティブラーニング及びルーブリックによるチームワークの評価)』 ～カナダ・クインズ大学の事例から～』開催報告

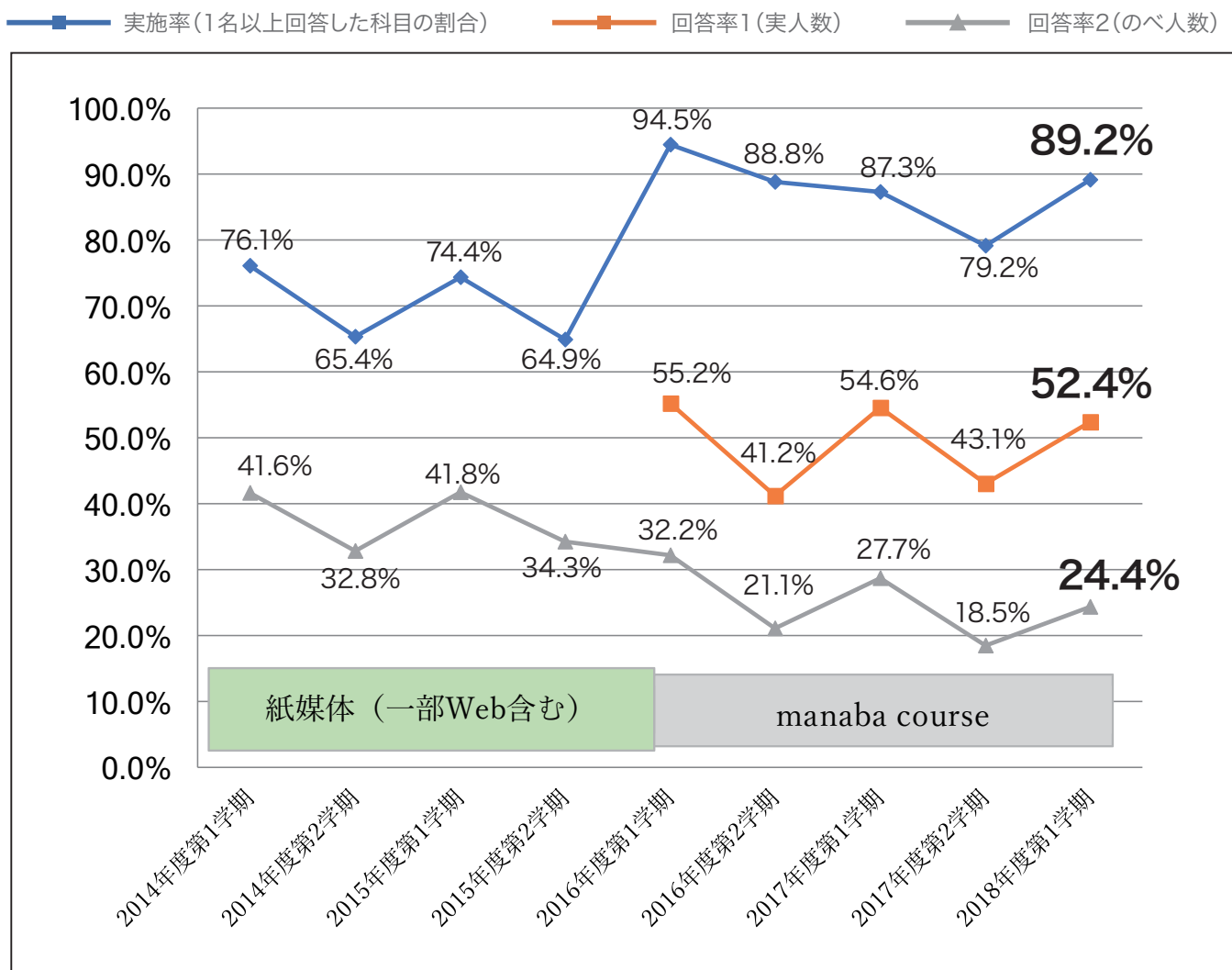
4月20日に2018年度第1回FDサロンを開催しました。今回のFDサロンでは、Andy LEGER氏(カナダ・クインズ大学 Centre for Teaching and Learning・School of Rehabilitation Therapy 准教授、東北大学 高度教養教育・学生支援機構客員教授)をお招きし、アクティブラーニングの導入効果やグループ活動におけるルーブリック等についてワークショップを交えて、開催されました。

教職員併せて約20名の参加があり、活発な意見交換がなされました。



「学生による学期末の授業アンケート」は、2016年度からmanaba courseを活用した方法へ移行しました。3年目となる今年度の第1学期の実施率^{※1}は89.2%(対前年度1.9%増)、回答率(実人数)^{※2}は52.4%(対前年度2.2%減)、回答率(のべ人数)^{※3}は24.4%(対前年度3.3%減)となりました。

学修支援・教育開発センター(教学企画部)では、2017年度に教学IRの定義^{※4}を定め、教学IR機能の整備と、機動的な意思決定に資する分析を進めております。「学生による学期末の授業アンケート」の結果についても解析をおこない、授業改善活動や学部等の組織的な教育改善活動に活用できるよう支援していきます。



※1…回答科目(1名以上の回答があった科目)数÷対象科目数×100

※2…実回答者数÷実受講登録者数×100

(実回答者数=1学生が1以上の科目を回答した場合は1人とカウント)

(実受講登録者数=1学生が1以上の対象科目を有する場合は1人とカウント)

※3…回答者数÷受講登録者数×100

※4…2017年度第4回学修支援・教育開発センター会議承認

2018年度自己応募研究プロジェクト中間報告会一覧

学修支援・教育開発センターでは、教育改革を推進する一環として、学内のグループ又は個人に対し、教育全般・授業・教材等の研究開発を奨励し、公開に対する支援を行うことを目的とした自己応募研究プロジェクト事業を実施(2018年度は7件の研究プロジェクトを採択・遂行)しています。

中間報告会は、それぞれの研究プロジェクトの遂行状況を全学に公開し、その研究成果を共有することを目的としています。詳細につきましては、開催日の約1週間前を目処に「学修支援・教育開発センターNews」にてご案内しますので、是非中間報告会に足をお運びください。

代表者名	プロジェクトテーマ	日時	場所	中間報告テーマ
吉川 悟 (文学部)	初回の心理療法における 治療関係構築に関する教材開発	2018年9月27日(木) 18:25 ~ 19:55	大宮学舎 清風館B103	初回の心理療法における 治療関係構築に関する教材開発
島根 良枝 (経済学部)	英語媒体の補助資料活用のための 教材開発	決定次第、学修支援・教育開発センター newsでお知らせ致します。		
神谷 祐介 (経済学部)	ソーシャルデザインと創作アートを 活用した「ものづくり型PBL」の 実践と評価	2018年12月19日(水) 12:30 ~ 13:10	深草学舎紫英館未定	ものづくり型PBLの実践例と教訓
工藤 和也 (経済学部)	学生の内的動機付けを高める 英語カリキュラム開発に向けた Needs Analysis	2018年12月7日(金) 16:45 ~ 18:15	深草学舎和顔館 2階214教室	「学生の内的動機付けを高める 英語カリキュラム開発に向けた Needs Analysis」の アンケート結果について(仮)
西岡 久充 (経営学部)	大人数授業時における 学生自発型LIVE授業へ向けた manaba courseの活用	2018年10月22日(月) 15:30 ~ 17:00	深草学舎紫英館2階 第1共同研究室	大人数授業時における 学生自発型LIVE授業へ向けた manaba courseの活用
李 洙任 (経営学部)	Moodle機能を使っての チーム基盤型学習 (Team Based Learning/TBL)	2018年10月23日(火) 15:00 ~	深草学舎 22号館 B102教室	Moodle機能を使ってのチーム基盤型学習 (Team Based Learning/TBL) —応用編—
佐藤 龍子 (農学部)	寺院を拠点としたPBL型授業の 開発(通称:お寺 dePBL)	2018年10月31日(水) 15:20 ~ 17:00	瀬田学舎2号館1階 多目的教室	「お寺 dePBL」報告会



学習成果ハンドブック



学習成果の設定、測定及び活用に関して各大学で試行錯誤が繰り返されているなか、その取り組みを支援することを意図し、『学習成果ハンドブック』を刊行しました。

出版年月：2018年1月
 編著：高等教育のあり方研究会 学習成果に関する調査研究会
 発行所：大学基準協会
 価格：2,160円
 ページ数：126p

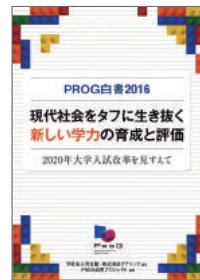
PROG白書2015
 ～大学生10万人のジェネリックスキルを初公開～



PROGで教育を変える。産業界と教育界をつなぐ、新しいタイプの能力測定。大卒者として社会で求められる汎用的な能力(ジェネリックスキル)を育成するプログラム「PROG」の、全国の大学生10万人の調査を基に、大学生に必要な能力をさぐり、大学選びの新たな基準を示す。【大学の教職員対象】

出版年月：2015年1月
 編著：PROG白書プロジェクト
 監修：学校法人河合塾・株式会社リアセック
 発行所：学事出版
 価格：2,160円
 ページ数：158p
 大きさ：B6判
 ISBN：9784761921088

PROG白書2016 現代社会をタフに生き抜く
 新しい学力の育成と評価 2020年大学入試改革を見すえて



新しい時代に必要とされる汎用的能力(ジェネリックスキル)を育成することが、これからの高校や大学、そして社会で求められている。2020年の大学入試改革なども見通したうえで、どんな学力をつけ、どう評価していくかを豊富なデータから考察。

出版年月：2015年1月
 編著：PROG白書プロジェクト
 監修：学校法人河合塾・株式会社リアセック
 発行所：学事出版
 価格：1,944円
 ページ数：128p
 大きさ：A5判
 ISBN：9784761922580

PT・OT学生の文章力を育てる!レポートの書き方
 一正しく学ぼう「書く基本」「文章の組み立て」



PT・OT学生の「書けない悩み」「書ける喜び」につながる一冊、読んで得する一冊!本書はPT(理学療法士)・OT(作業療法士)をめざす学生向けの高谷流文章(レポート)読本である。学生の文章書き意識の理由は、書く基本的ルールを知らない、書き意識が狭い(トクマ)になっている、という3つが挙げられるが、学生がこれらの書き意識を克服できるように「レポート」「症例」の書き方の具体例を挙げて解説した。まず「はじめに」「本論」「後書き」の3部構成を基本とする。「はじめに」は80字程度で要約を述べ、「本論」では1,2,3と番号を付け3段落構成にして、第1文に結論、第2文に根拠(理由)、第3文以下に具体例を書く。「後書き」はまとめを書く。という「三分節法」の文章構成がわかりやすく解説されている。学生たちは高度な文章技術を解説するマニュアルからは学べない「書き方の基本」を習得できる。OT・PT学生さんにはぜひ学習してほしい一冊である。

出版年月：2016年12月
 著者：高谷 修
 出版社：金芳堂
 価格：2,000円
 ページ数：169p
 大きさ：A5版
 ISBN：9784765317047

文章力を伸ばす一書くことが、
 これでとても楽になる81のポイント



文章力を磨くとは、考える力を磨くこと。丁寧な添削指導6000件から生まれた本。「読んで面白い、内容のある、現実感のある文例」「自分も書いてしまいそう、身につけられる文例」そんな345の文例と親しみながら、考える力、書く力を磨いてください。27万部ベストセラー『文章力の基本』著者が、6000件の文章指導のノウハウをまとめた最新作。

出版年月：2017年6月
 著者：阿部 純久
 出版社：日本実業出版社
 価格：1,300円
 ページ数：216p
 大きさ：B6版
 ISBN：9784534055002

思考し表現する学生を育てる
 ライティング指導のヒント



大学生が身につけるべきもっとも重要なスキルの一つであるアカデミック・ライティング。本書では「何を、どう書かせるのか」「それをどう指導するのか(カリキュラム、指導技術、評価法、組織体制など)」についてのヒントを提供する。紹介された実践例は、多様な学問分野や対象学年をカバーし、個人の取り組みから大学レベルでの組織的取り組みまで多岐にわたる。初年次教育、一般教育・専門教育でのレポート指導、卒論指導などに関わるすべての教員にとって役立つ本。

出版年月：2013年3月
 著者：関西地区FD連絡協議会
 京都大学高等教育研究開発推進センター
 出版社：ミネルヴァ書房
 価格：2,800円
 ページ数：256p
 大きさ：A5判
 ISBN：9784623066346

図書貸し出しのご案内

学修支援・教育開発センターでは、高等教育やFDに関する図書を購入し、教職員へ貸し出しを行っておりますので、是非ご利用ください。専任教職員につきましては、学内便での貸し出しも可能です。1. お名前、2. ご所属、3. 教員/職員の別、4. 貸出希望の書名、5. 著者名を明記の上、dche@ad.ryukoku.ac.jp までお申込ください。詳細は、http://fd.ryukoku.ac.jp/for_teacher/siryou/ をご参照ください。

アクティビティホール・ギャラリーをご利用ください。【要予約】

設置場所

※写真は深草学舎

- 深草学舎 和顔館1階学生コモンズ
- 大宮学舎 東翼1階学生コモンズ
- 瀬田学舎 智光館地下1階学生コモンズ ※ギャラリーのみ



アクティビティホール

ゼミ活動やワークショップ、成果発表等のイベント会場として多様な用途に使用できます。



ギャラリー

正課・正課外、学生の課外活動、教員の研究活動など、ジャンルを問わず様々な情報について、パネル・ポスター等を展示広報する情報発信空間です。

上記施設の利用申請書は以下のURLからダウンロードできます。
<http://www.ryukoku.ac.jp/learningcommons/reservation.html>



龍谷大学
RYUKOKU UNIVERSITY